

オグロプレーリードッグの春



須坂市動物園で飼育しているオグロプレーリードッグ (同園提供)

飼育員 日誌

長野・須坂市動物園



スザッチ

冬が過ぎ、最近では春を感じられる日も増えてきましたね。

冬の間にはオグロプレーリードッグ舎を訪れた方はもしかしたら動物の数が少ないと感じたかもしれません。実は冬はプレーリードッグの繁殖期でもありません。動物園では冬の間、雄と雌を分けて飼育していた

ため、来園者から見える動物の数も少なくなっていたのです。ですが、繁殖期が過ぎて春になると、雄と雌をまた一緒に飼育するようになります。

この時期、飼育員は今まで以上に動物の様子を気にします。というのも、冬の間には別々に飼育していた動物を一緒にすると、時々ケンカになる場合もあるからです。そのため、はじめのうちには時間を区切って同居したり、網越しの同居をしたりと様子を見ながら徐々に一緒にして、ケンカにならないように配慮しています。

暖かくなった春ににぎやかになるオグロプレーリードッグたちに会いに来てくださいね。

(獣医師 笹田和樹)